

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	022	事業名	リモテラス事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
------	-----	-----	---------	------	---------------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ リリモでにぎわい交流するまち	会計区分	一般会計
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～	予算区分(款 一 項 一 目)	
	第6次総合計画・基本目標	✓ いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪	2-1-9 まちづくり協働費	
	法定受託事務の有無	—		
	その他(関係計画、要綱等)	✓ リリモテラス公益施設(仮称)整備基本計画(H28.4)		
事業開始の背景、経緯等	同計画で掲げる将来像「人が輝き 緑があふれる 交流都市 長久手」の実現に向けて、第5次長久手市総合計画の主要プロジェクト「リリモテラス構想※」を掲げた。 ※リリモテラスをまちの顔として整備し、市民が集い、訪れる人をもてなす場を創出すること			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) リリモテラス公益施設(仮称)を整備し、長久手古戦場駅前に、まちの新たな顔として、公益施設、広場等で構成される「リリモテラス」を整備する			
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、長久手市来訪者			
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出するため			
	事業を構成する事務事業(B票)	① リリモテラス整備事業	拡充	④	
		②		⑤	
		③		⑥	

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円	決算	予算		25,659	5,419	33,418
決算					5,700	5,391	11,623	
人件費(B)	千円	決算		7,250	5,347	8,865		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		12,950	10,738	20,488		

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A リリモテラス整備事業に関わった市民の数	人	目標	—	—	500	1,000	1,500
実績			—	—	515	1,576		
B		目標						
		実績						
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 市民主体のまちづくりの推進のため、リリモテラス整備事業においても参加市民の数を念頭に置いて事業を実施する。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 特になし
------	-----------------------	----------------------------------------------------

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 事前に広報等を通じオープンな形で開催するリリモテラス関連事業には、多くの市内外の住民が参加しており、目標は達成している。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 平成29年度より市民主体での施設設計及び管理運営手法を検討してきたが、市民の主体性が高まったことで、平成30年8月に市民の発案でリリモテラス運営協議会が上がり、具体的な検討をはじめることができた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) リリモテラス事業について主体的に検討する市民団体「リリモテラス運営協議会」が立ち上がったが、その他の市民に対しての広報、事業参画などが課題である。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) リリモテラス運営協議会を中心に事業を推進していく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成32年度に完成予定のリリモテラス公益施設(仮称)の完成とともに、リリモテラスがまちの顔として市民が集い、訪れる人をもてなす場となるよう、リリモテラス運営協議会と協働し、施設設計、施設管理運営、リリモテラスエリアの活用などを検討していく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
------	-------------------------	--------------------------------------------------

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	リリモテラス事業		担当部課	くらし文化部たつせがある課	決算書ページ	—
事務事業名	①	リリモテラス整備事業	予算区分	2-1-9 まちづくり協働費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成21(2009)年度	終了(予定)年度	平成32(2020)年度		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 対象：市民、長久手市来訪者 手段：長久手古戦場駅前に、まちの新たな顔として、公益施設、広場等で構成される「リリモテラス」を整備することで市民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出すること

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算	—	25,659	5,419	33,418	3,047
		決算	—	5,700	5,319	11,623	—
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		リリモテラス公益施設(仮称)基本設計業務委託				7,020	千円
(2)		運営組織育成支援業務委託				3,283	千円
(3)		運営市民ボランティア発掘業務委託				897	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
リリモテラス整備事業に関わった市民の数	人	見込	—	—	500	1,000	1,000
		実績	—	—	515	1,576	—
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>ながくて隣人まつりの開催 合計8回、延べ1,576人参加</li> <li>リリモテラス公益施設(仮称)の基本設計完了</li> </ul>							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

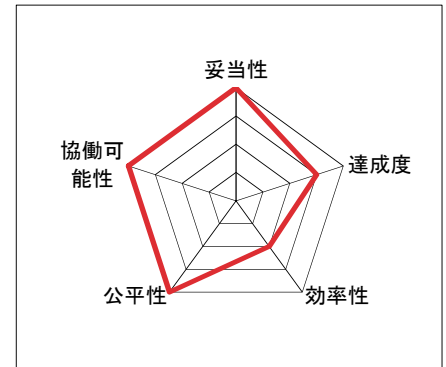
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成29年度より市民主体での施設設計及び管理運営手法を検討してきたが、市民の主体性が高まったことで、平成30年8月に市民の発案でリリモテラス運営協議会が立ち上がり、具体的な検討をはじめることができた。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
33,418 千円	3,047 千円	△ 30,371 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	※新規行政評価対象	
・前年度【コメント】	—	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
—		

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	2
公平性	4
協働可能性	4



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込	—	500	1,000	1,000
実績	—	515	1,576	—
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
リリモテラス運営協議会の開催(リリモテラス公益施設(仮称)の設計及び同施設の管理運営手法の検討)				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
市民の発案でこれまでなかったようなイベント等を開催することができ、数多くの市民に参加いただくことができた。 (リリモテラス運営協議会が、リリモテラス公益施設(仮称)の設計や同施設開館後をイメージした実証実験を兼ねて、「ながくて隣人まつり」を合計8回実施し、延べ1,576人が参加した)

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
平成31年度はリリモテラス運営協議会に対し、およそ300万円の負担金を拠出することにより、協議会を構成する市民等が自主的に情報収集・発信を行いながら、リリモテラス公益施設(仮称)の開館に向けた実証実験や設計の検討を行っていく。

## 7. 今後の方向性

拡充